

## 0-5-3

### 低温岩盤浴および低温岩盤マットの心不全等に対する有用性

Effects of Mild-temperature-bed-rock-bath Therapy and of  
Base-rock-mat on Chronic Heart Failure

篠崎 洋二<sup>1)</sup>, 上者 郁夫<sup>2)</sup>, 佐野 俊二<sup>3)</sup>

1) 医療法人 篠洋会 篠崎クリニック, 2) 岡山大学大学院保健学研究科

3) 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 心臓血管外科

In the 10th Japanese society for complementary and alternative medicine of last year, base-rock-bath of mild- hyperthermia (36-39 ) can be safely adopted to the far senior and sick persons who hold serious sickness such as heart failure. This time, we are to report of further study including new cases of the base-rock-therapy of mild-hyperthermia. Furthermore, we are to report of the effects of portable type of base-rock-mat (Brand name :of “DREAMY MAT of YAMATO®).

#### 【目的】

昨年の第10回補完代替医療学会において、低温岩盤浴は高齢者や心不全などの重篤な病気を抱えた方々にも安全に適応でき、心不全にたいしても有効であることを示した。今回、我々は低温岩盤浴の症例を追加し、高温岩盤浴と比較、解析するとともに、ゲルマニウム等をマット状に加工した携帯用低温岩盤マット（大和の夢心地®）の心不全等に対する治療成績について検討を加えたので報告する。

#### 【方法】

今回の岩盤浴の被験者は高齢者を含む健常成人27人（男12人 女15人 平均60.7才）、岩盤マットの被験者は特別擁護老人ホーム”泉寿の里”の入所者8人（男2人 女6人 平均83.6才）であった。岩盤浴は青龍石、麦飯石、ゲルマニウムの3種類の温度コントロール可能な岩盤ベッドを用い、36～39と40以上の岩盤浴を施行し、比較検討した。岩盤マットは36～37前後の温度で使用し、使用前後の血液検査と臨床所見の変化を観察した。

#### 【結果】

低温岩盤浴において、心不全の指標であるBrain Natriuretic Peptide(BNP)は改善傾向が強くみられ、また浮腫が軽減され、心不全に対する有効性が示唆された。最高血圧、最低血圧、脈拍および呼吸状態は安定しており、体温はほとんどの例で37前後となった。他方、40以上の岩盤浴においては、50歳以上の高齢者の8例中3例にBNPの上昇が見られた。岩盤マットの症例についてもBNPの低下傾向が見られ、心不全に対する有効性が示唆された。

#### 【結論】

低温岩盤浴においては、高齢者においてもBNPを改善することが示唆された。臨床効果としては浮腫が軽減したほか、高温の岩盤浴と同様、疼痛の軽減、循環障害の改善、不定愁訴の軽減がみられた。低温岩盤浴は高齢者や衰弱者においても臨床応用には問題はないと考えられ、心不全の治療法として有用であることが示唆された。